

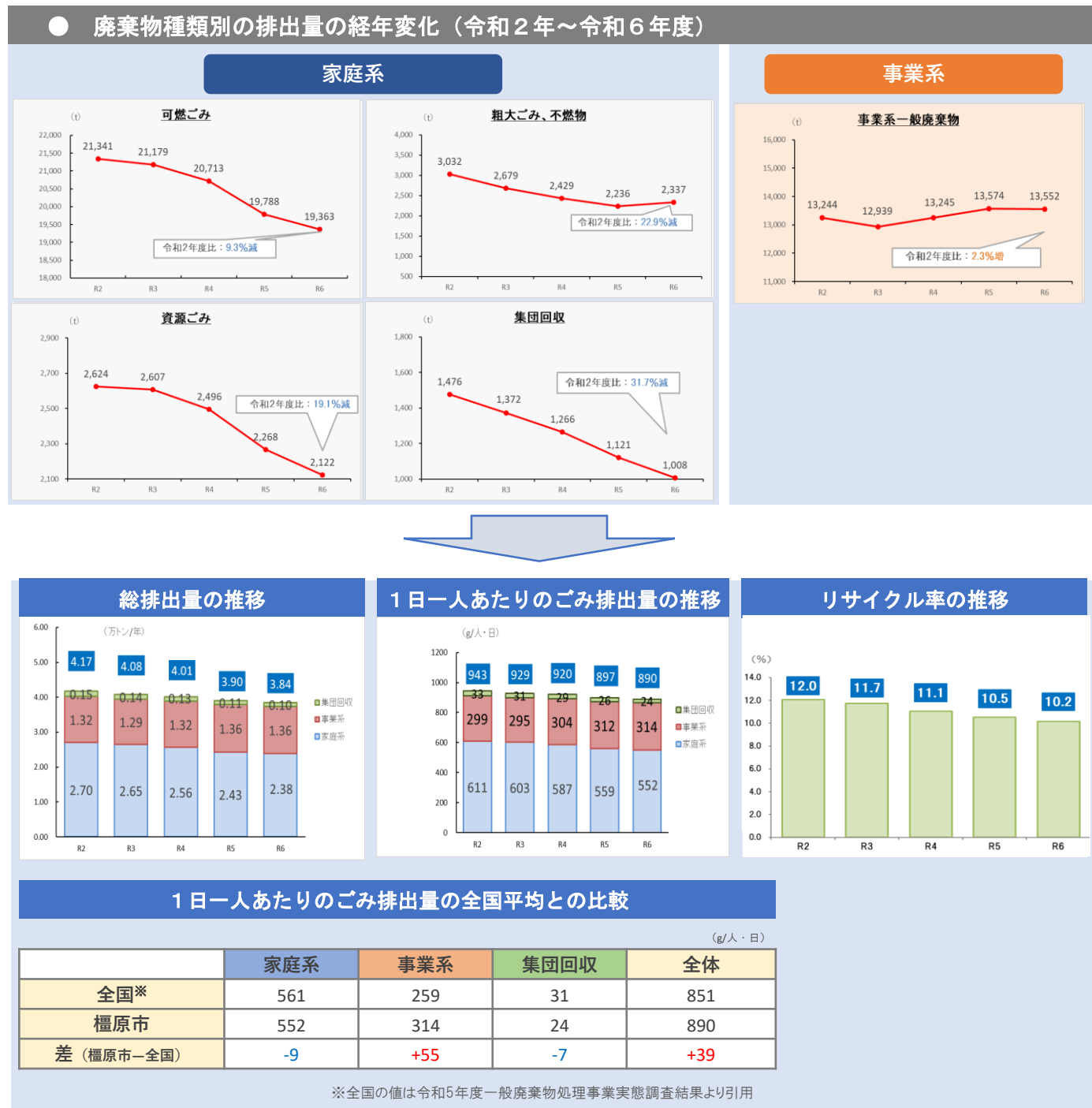
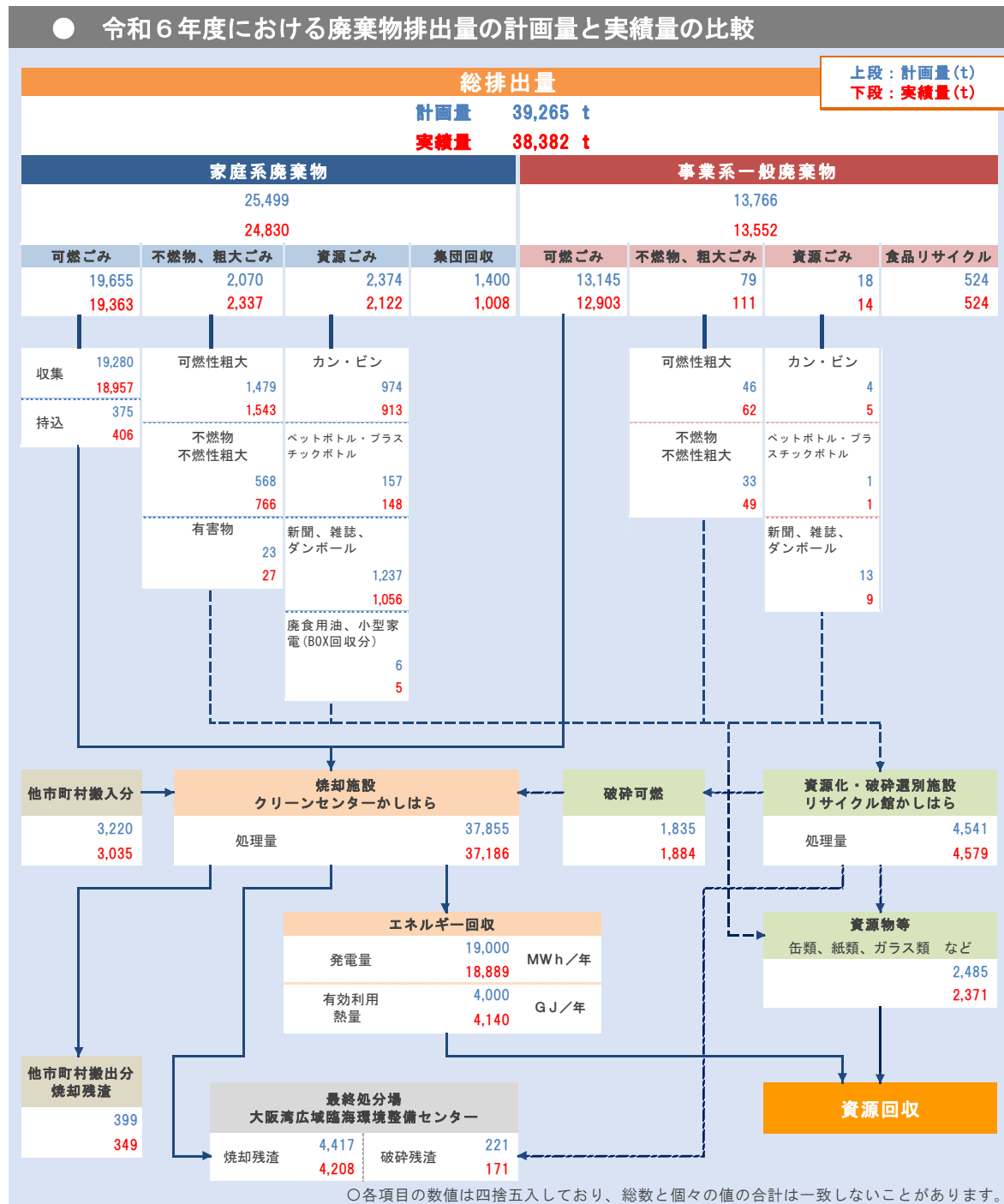
令和6年度橿原市一般廃棄物処理事業（報告）

令和6年度の橿原市一般廃棄物処理事業について、以下のとおり報告します。

1. 処理状況

本市の令和6年度における廃棄物の排出量・処理量は以下のとおりとなりました。
 家庭生活から排出された廃棄物と、事業に伴って排出された廃棄物を合わせた全体の排出量（総排出量）は38,382tであり、これは年度当初に策定した実施計画の計画量と比べ、約883t下回る結果となりました。

廃棄物の種類別に排出量の経年変化を見ると、令和6年度は令和5年度と比べると総排出量では約606t減少しました。
 総排出量をその年度の人口と日数で除した値（1日一人あたりのごみ排出量）は、令和6年度は890g/人・日となり、令和5年度と比べると7g減少し、全国平均（851g/人・日）と比べると39g上回る結果となりました。



2. 施策の進捗状況

(1) 排出抑制・再使用

基本方針： 排出抑制及び再使用を優先した4Rの推進

施策1 4R普及啓発事業

4Rに関する有用な情報を適切なタイミングで市民に提供します。処理施設の見学受入や出前講座の実施、不用品の還元イベントやリユースコーナーを常設し、環境について考える機会を提供します。

	R4	R5	R6
見学受入、出前講座(団体)	8	17	15
リユースマーケット等参加人数(人)	1,980	4,350	3,434
ごみ分別アプリDL累計数(件)	20,730	24,530	28,839

施策2 処理手数料制度運用事業

ごみ処理費用の一部を排出者の負担とします。家庭系の可燃ごみに係る処理手数料は、有料の指定ごみ袋制度を運用します。

	R4	R5	R6
ごみ処理手数料収入(千円)	349,701	351,365	347,108
内、ごみ袋販売収入(千円)	178,697	177,548	171,562
年間ごみ袋供給枚数(万枚/年)	522	522	506

施策3 生ごみ減量化事業

減量化に関する手法や資源化に関する情報を発信し、生ごみの発生抑制とリサイクルルートへの誘導を図ります。市関連施設においても、生ごみ減量・リサイクルに取り組みます。

	R4	R5	R6
食品リサイクル量(トン)	408	425	524
生ごみ処理機器購入補助(件)	11	11	11

(2) 再生利用

基本方針： 有用資源の回収強化及び循環利用の促進

施策4 ごみ搬入受付事業

ごみ搬入時に、分別方法、持込方法、適正処理方法を案内するとともに、資源化促進の働きかけを行います。

	R4	R5	R6
クリーンセンター受付回数(回)	50,073	49,343	50,396
リサイクル館受付回数(回)	40,656	39,799	41,205

施策5 資源物処理事業

搬入された不燃ごみ及び資源物は、市処理施設で前処理を行い、適正なりサイクルルートと財源の確保に努めます。資源物の回収強化に向けた広報啓発の充実を図ります。

	R4	R5	R6
資源回収量(トン)	2,767	2,554	2,371
資源化売却益(千円)	102,368	80,813	91,008

施策6 集団回収促進事業

多くの市民が活動に参加できるような環境づくりを進めます。活動の普及促進に努め、併せて紙資源の循環強化を図ります。回収した資源物の重量に応じて市から報償金を交付し、活動を支援します。

	R4	R5	R6
活動団体数(団体)	147	145	137
資源物集団回収量(トン)	1,266	1,121	1,008

(3) 適正処理

基本方針： 効率的で適正な処理システムの構築

施策7 廃棄物等収集事業

地域特性を踏まえ、効率的にごみを収集します。ごみ排出時における利便性を高めるため、「ふれあい収集」や「リクエスト収集」を実施します。

	R4	R5	R6
可燃ごみ収集量(トン)	20,340	19,407	18,957
不燃物・粗大ごみ収集量(トン)	1,435	1,294	1,422
資源ごみ収集量(トン)	2,399	2,183	2,033

施策8 一般廃棄物収集運搬業許可事業

許可制度の運用に当たっては、廃棄物処理法に基づき、的確な審査を行い、適正に運用します。搬入物検査を実施し、適正処理を確認します。

	R4	R5	R6
許可業者数(社)	27	26	26
搬入物検査違反率(%)	0	0	0

施策9 クリーンセンターかしはら運営管理事業

長期包括運営委託事業を実施し、適正・安全な処理に加え、効率的な運営を実施します。焼却余熱を利用した発電等によりエネルギーの有効活用を推進します。

(クリーンセンターかしはら)	R4	R5	R6
処理量(トン)	40,871	40,584	37,186
突発故障による休止日数(日)	0	0	0
発電電力量(MWh)	21,387	20,816	18,889

施策10 リサイクル館かしはら運営管理事業

長期包括運営委託事業を実施し、適正・安全な処理に加え、効率的な運営を実施します。4Rの啓発拠点としての役割を強化します。

(リサイクル館かしはら)	R4	R5	R6
処理量(トン)	5,011	4,642	4,579
突発故障による休止日数(日)	0	0	0

施策11 不法投棄対策事業

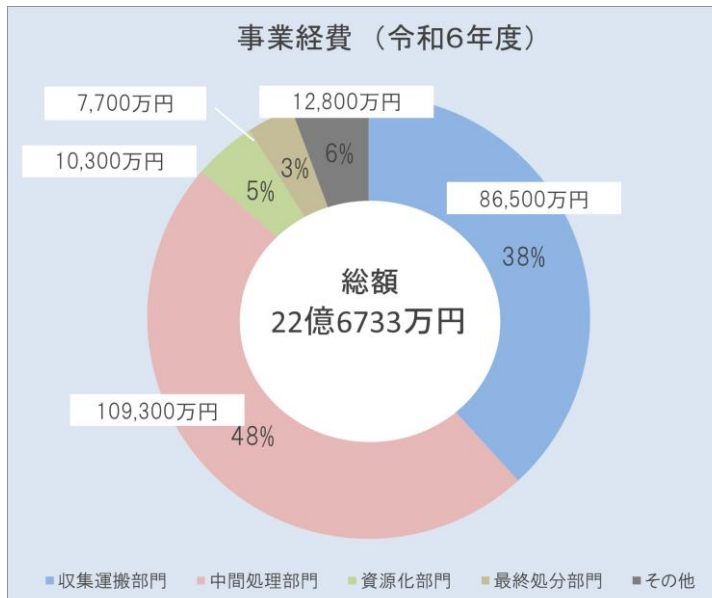
巡回パトロールの実施や防止看板の設置等を行い、不法投棄されにくい環境づくりに努めます。地域の力を活用した取組を推進します。

	R4	R5	R6
不法投棄件数(件)	83	88	100
不法投棄防止看板配布枚数(枚)	6	10	16

3. 事業経費(し尿処理事業を除く)

令和6年度一般廃棄物処理事業経費

約 22 億 6733 万円/年
(総排出量 38,382t → 1tあたり約 59,100円)



(R4年度:約21億988万円、R5年度:21億7992万円)

収集運搬部門

・廃棄物を収集し、処理施設へ運搬する経費
約 8 億 6, 500 万円/年
(収集運搬量22,412t → 1tあたり約38,600円)

中間処理部門

・焼却処理、破砕処理に要する経費
約 10 億 9, 300 万円/年
(処理量39, 639t → 1tあたり約27,600円)

資源化部門

・資源物の選別・圧縮・保管に要する経費
約 1 億 300 万円/年
(資源化量2,131t → 1tあたり約48,300円)

最終処分部門

・焼却灰や不燃残渣等の埋立処分に要する経費
約 7, 700 万円/年
(処分量4,379t → 1tあたり約17,600円)